

# 第26回 東洋大学 「現代学生百人一首」入選作品から

東洋大学が、若い感覚を三十一文字(みそひともし)に込めてもらおうと創立100周年記念事業でスタートした「現代学生百人一首」は、今年で26回目を迎え、応募総数は54,107首と、多くの力作が寄せられました。

若者たちの歌は「現代」を映す鏡。若者独自の文化や言葉で、繊細で脆さのある反面、おおらかなユーモアで表現されています。2013年1月15日に発表した入選作品100首の中から、一部をご紹介します。

## ◆日本が沸いた「ニュース」——日本人の活躍は世界でも

2012年を代表するニュースの中でも、「金環日食」は各学校、早朝から集まって観覧会を行ったというケースも多かったようです。そして日本選手団にとって、過去最高のメダル獲得数となった「ロンドン五輪」、「iPS細胞」でノーベル賞を受賞したニュースなど、日本人の世界的な活躍に対して、嬉しさを表現しています。

- 眼鏡買い家族三人回し見た  
金環日食宇宙の不思議  
埼玉県 県立久喜北陽高等学校 2年 市川 彩菜さん
- 吉報が日本中を駆け巡る  
再生医療に新たな兆し  
東京都 星美学園高等学校 3年 落合 桃子さん
- ロンドンで輝きはなった右フック  
歴史に残る金メダリスト  
京都府 南都高等学校 3年 東出 駿さん
- 金の環を見るため買った眼鏡越し  
見えた光は笑っていたよ  
徳島県 阿南工業高等専門学校 5年 森田 千賀さん

## ◆大震災——復興を祈り、訴える思い

東日本大震災からもうすぐ2年が経過。今も爪痕が残る被災地からは現状を訴える歌、そして復興を願いつつ、忘れてはいけないと警鐘する若者の声が寄せられました。

- 何も無い瓦礫も消えて空いた土地  
頑張れなんてもう言えないな  
岩手県 県立水沢商業高等学校 1年 奥山 結香さん
- 少しずつ復興してくふるさとを  
また見てみたいあの荒浜を  
宮城県 巨理町立荒浜中学校 2年 菊地 真由香さん
- 和英辞書「つ」の欄引けば辿り着く  
TSUNAMIは悲劇の世界共通語  
東京都 十文字中学校 3年 近江 優花さん
- 東北の緑豊かな山の奥  
蛍瞬き復興のヒカリ  
広島県 県立宮島工業高等学校 3年 工藤 裕太さん

## 附属 牛久高等学校 から2名入選



城地さん(写真左) 小曾根さん(写真右)

### 父に聞く自己推薦書の長所欄 答えてくれた言葉に泣いた

東洋大学附属牛久高等学校 3年 小曾根 ゆり子さん

「自己推薦書の長所欄が書けずに悩んでいたとき、何気なく父に聞いてみたところ返ってきた言葉が無性に嬉しく、心に響いた」という。さり気ない家族の温かさが伝わります。

## ◆IT化——「スマホ」世代が 感じるデジタル社会

急速なIT化は、流行に敏感な若者に大きな影響を与えています。中でも「スマートフォン」「ツイッター」「フェイスブック」等を題材にした歌で、デジタル社会への思いを巧みに表現しています。

- ツイッターフェイスブックで  
なりすまし誰でもなれる憧れの自分  
東京都 千代田区立九段中等教育学校 3年 山下 剛志さん
- 地図アプリ役に立たないこんな時  
「私の進路はどの道ですか？」  
長野県 長野県岩村田高等学校 2年 内田 みのりさん
- 「詳しくはウェブで」とうたう  
CMは情報社会の格差広げる  
広島県 広島新庄高等学校 1年 木村 紗和音さん
- スマホではスライドすれば次のページ  
人生は楽にスライドできず  
大分県 大分中学校 2年 射場 拳虎さん

## ◆学校生活—— 年齢問わず青春を感じるシーン

苦手な試験、部活動、進路など学校生活ならではのシーンがリアルに歌の中で表現されています。時代を越えて共感できることも、現代学生百人一首の魅力のひとつです。

- 燃え上がる俺の闘志に火をつけて  
電圧あわせてアーク溶接  
山形県 県立酒田光陵高等学校 2年 星川 陽祐さん
- 先生に解答用紙返されて  
こっそり紙のはじっこをおる  
埼玉県 さいたま市立植竹中学校 2年 伊加田 優香さん
- 過ぎてゆく高二の夏を止めたくて  
朝顔一つ押し花にする  
新潟県 東京学館新潟高等学校 2年 鈴木 亜矢子さん
- えんぴつがくるりくるりとダンス中  
白いステージ中間考査  
福岡県 福岡女学院中学校 3年 下迫 仁子さん
- 柿や蜜柑栗などザルに盛られてる  
就活の僕もザルに盛られる  
長崎県 県立諫早農業高等学校 3年 若塚 俊介さん

### なんとというおもしろさだろう 世界史はページをめくれば時空旅行

東洋大学附属牛久高等学校 3年 城地 祐奈さん

受験勉強中に好きになった世界史の面白さを歌で表現。「つらい勉強も世界史なら乗り越えられる」と楽しさを見つけた新しい新鮮な目線で詠まれています。

入選作品の100首とバックナンバーは東洋大学ホームページ<http://www.toyo.ac.jp/issyu/>をご覧ください。